

## 令和5年（2023年）の硫黄鳥島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター  
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

### ○ 噴火警報・予報の状況、2023年の発表履歴

2023年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
------------	-------------------

### ○ 2023年の活動概況

10月4日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2022年11月）に引き続き白色の噴気が確認されました（図2、図3）。島の西岸で茶褐色～緑色の変色水域の分布が認められました（図2）。

10月18日に気象庁の海洋気象観測船「啓風丸」が実施した海上からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で、前回の観測（2022年6月）に引き続き白色の噴気を確認しました（図4、図5）。硫黄岳火口周辺の海域では変色水域を確認しました（図6）。また、風下側で硫化水素臭を確認しました。



図1 硫黄鳥島 噴気位置と各図の撮影方向

この資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

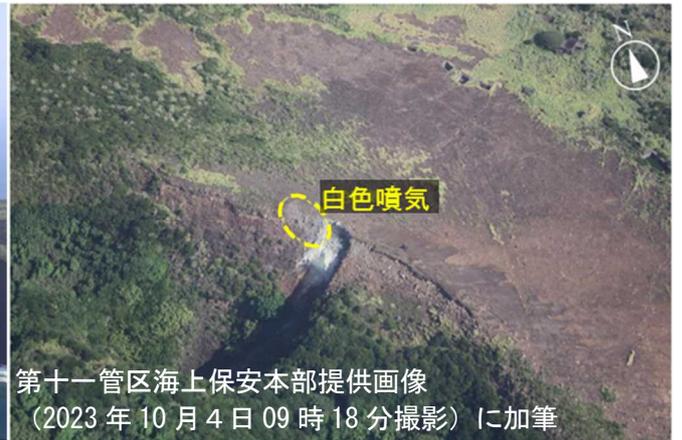
この資料は第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。

第十一管区海上保安本部提供画像  
(2023年10月4日09時03分撮影)に加筆



第十一管区海上保安本部提供画像  
(2023年10月4日09時18分撮影)に加筆



海上保安庁提供画像 (2022年11月4日16時08分撮影)に加筆

図2 硫黄島 硫黄岳火口周辺、グスク火山火口周辺及び変色水域の状況 (10月4日)

左上：硫黄岳火口及び変色水域の状況 (2023年10月4日撮影)

右上：グスク火山火口の状況 (2023年10月4日撮影)

下：硫黄島西岸の状況 (2022年11月4日撮影) ※白破線内は左上図の概ねの撮影範囲

・10月4日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、グスク火山火口周辺及び硫黄岳火口で白色の噴気が、島の西岸で茶褐色～緑色の変色水域が確認されました。



第十一管区海上保安本部提供画像 (2023年10月4日09時12分撮影)

図3 硫黄島 硫黄岳火口内の状況 (10月4日)

・10月4日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、火口底及び火口内壁から白色噴気の放出を複数個所認められました。



図4 硫黄島 グスク火山火口周辺の状況（10月18日）  
・前回観測（2022年6月）に引き続き白色噴気（黄破線内）を確認しました。



図5 硫黄島 硫黄岳火口周辺の状況（10月18日）  
・前回観測（2022年6月）に引き続き白色噴気（黄破線内）を確認しました。



図6 硫黄島 変色水域の状況（10月18日）  
・硫黄岳火口周辺の海域で変色水域（白破線内）を確認しました。